

CAFE BALCONY CAFE

カフェ・バルコニーの家

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY

通信
平成 26 年 3 月号 (第 46 号)

大雪で慣れない雪下ろしの作業で苦労された方も多かったのではないのでしょうか。
雪道をおぼつかない足どりで歩いてると転びそうで少し緊張します。
でも雪を片づけると春の足あとが近づいてくるような気がしますね。
春の訪れももうすぐです。
カフェ・バルコニー通信 3 月号をお届けします。



撮影者：高橋秀明



「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



カフェバルコニーに熊谷市長が来店されました。

雪の降りしきる 2 月 8 日土曜日千葉県熊谷俊人市長が私的な立場でカフェ・バルコニーへランチにお見えくださいました。バルコニーのスタッフ、メンバーの家族、「美浜区を住みよい町にする会」の関係者など十数人がお迎えするなか登場された市長からは若く闊達な印象を受けました。バルコニーメンバーが心を込めて調理したランチを共に頂きました。メンバーが用意したのは

- > イタリア人をうならせた！ラザーニア！
- > 地中海を見下ろすトマトとセロリのサラダ
- > 日伊交流トマトとアボガドの酢の物
- > オニオンスープ
- > おしゃれなスコーン

>> という料理の数々で、参加の全員がとても美味しかったと感想を述べていました。

1 時間余のランチ会、食事の合間に市長は時にはメモを取りながら同席の一人一人の話によく耳を傾けてくださいました。お話は当然バルコニーのこと、家族の気持ちから地域の将来像に至るまで多岐にわたり、もっともっと時間があれば良かったのにとおもいました。この食事会に参加してバルコニーの存在、そこに関わる人たちの思いを市長にお伝えできたことに喜びを感じます。

松本明子





コルツァカップに参加しました。

〇一月のメルシーカップに引き続きバルサとの合同チームB&Sで千葉コルツァカップにのぞみました。成績自体は残念なものだったかもしれませんが、今回は大会前に試合形式の合同練習も行いチームとしての一体感も増してより楽しくゲームができたと思います。

私個人の失敗は相変わらず数え切れませんが、パスがつながるととても気持ち良く、ずれてしまった位置へのパスを上手く受け取ってもらえた時には感謝の気持ちでいっぱいになります。チームスポーツと無縁だったため仲間とやれることがとてもうれしいです。フットサルの技術うんぬん以前の問題として私には動ける体力があまりにもないので、身体症状に負けない体力作りをできることから地道にして少しでもチームの役に立てるようになってほしいなと思います。

チームのみなさん、当日サポートしてくださったみなさん、本当にありがとうございました。

J. Y.

〇コルツァカップ参戦記

二月十一日真っ白な雪におおわれた順天堂大学さくらキャンパスで開催されたコルツァカップに参加しました。

五チームが参加して総当たり戦で上位四チームが関東代表になれたのですが、我々B&Sは残念なことに全敗してしまい、最下位でした。この日のために、たくさん練習したのに負けてしまい、悔しかったです。

しかし、悲観することも無いと思いました。前回大会のように大量に失点する試合は少なく割とディフェンス出来ていたように思います。あとは守りにさらに磨きをかけて、得点力、決定力を身に付けたいです。

来年のコルツァカップでは一勝はあげたいです。

K. T.

〇試合場に着くまでに体力を消耗してしまい、試合に出ても体力不足を感じたので、少しずつ体力作りをしなければと思いました。

A. K.



模型飛行機作り

〇ボランティアさんがご購入された模型飛行機をみんなで作ることにになりました。

みんなで飛行機の材料を机に並べました。

翼など色んな材料を、ボンドを使ってくっつけていました。

でも作りあげた主翼の左右のバランスがとれてなかったです。

それでみんなで翼に霧吹きして翼のバランスをととのえました。
飛行機が完成したらみんなで飛ばす予定です。
私は子供の頃飛行機の模型を飛ばしてました。
だから飛行機を飛ばすのはなつかしいです。
飛行機を飛ばす日が楽しみです。

I. T.



デコパーージュをしています。

〇ビーズ教室でお世話になっている石居先生が、デコパーージュも教えて下さると聞いて、以前からやってみたかったので、デコパーージュに挑戦することにしました。

クリスマスが近い11月からはじめたので、キャンドルとホタテの貝殻を使ったナプキンデコはサンタクロースの柄やクリスマスリースの柄のナプキンを使いました。

ナプキンデコの説明を少し、紙ナプキンを（3枚綴り）1枚に剥がすところからはじめます。好きな模様のナプキンを選んで1枚にします。それを専用ののりにつけて、キャンドルや、ホタテの貝殻などに貼っていきます。ラメやビーズなどをつけてからニスを塗って仕上げます。自分で絵を描かないので私にはあっているようです。今ではビーズよりもデコパーージュが気に入ってます。

S. S



二月の誕生日会

Y. N. さん、K. U. さん、お誕生日おめでとうございます。

お二人のコメントを紹介します。

〇ありがとうございました。

Y. N.

〇誕生日って意外と嬉しいですね。

K. U.



いいまち千葉・フリーマーケットに出店しています

○主催者であるちば市民活力創造プラザはNPO法人やボランティア団体を支援する目的で千葉市民活動センターと千葉市ボランティアズカフェを統合する形で千葉市によって設置されました。いいまち千葉・フリーマーケットはなんと1994年からスタートしてすでに230回開催されており千葉市の名物行事として定着しています。

カフェ・バルコニーの家では昨年の12月にデビューしました。お客様より「あなたたち見ない顔だね」「おいしそうなので毎回買うよ」「どういう団体なの」などと声かけられました。なにしろ人手が多いので売上もうなぎのぼり。またいろいろなお店を見るのも楽しみです。

ご家族の皆様、関係者の皆様、支援者の皆様ぜひ一度来てくださいね。場所はパルコ前の千葉銀座商店街。日時は毎月第4日曜日の10時から。雨天中止です。お待ちしております。



メンバーの寄稿文

○「夢牧の陣地」

夢とは、イメージと感情と思考のなかでとんでもない無責任であるから本当は沈黙すべき対象であって、夢について夢物語を述べたいと信じる者だけが他者の夢物語に魅せられるのである。

それは空間的な自由であって、メタフィジカルな自立であって精神と自然と人間という力との会話である。彼は確かに夢自体が語られ、聴かれ、書かれる時間を信じている、むず痒い個体のなかに来た問いかけの微かなメロディーを知ろうとしてる。

醒めている時間の方は、どんなにあがいても夕暮れが来て失われ流れ去ってゆく、冷たい感触を持った粹組の固有な自己発見に満ちた危ない遊離であるとも考えられる。了解性の落葉振り、枯枝に柿の実は耀き、時間はあるいは無意識の生活が影の石の砦を作って、人と会い、ことばを使って思考したり、コミュニケーションの不可能性を越えて自己表現の方向へ駆り立てられてゆく人々の誰もが赦された、夢で化粧した、合言葉であるだろうか。

ぼくたちはあの粹組がいつどんなにして成長し破壊され、再生と再稼働のために自己自身を発見するかよく知っているだろう。窓枠みたいな心とことばと理智の象徴に降り積もる雪みたいな夢のかたちとは、時間の晦暗のなかの海淵みたいな特殊な性格であって、特殊から特殊が解かれ離されてゆくとき彼自身粹組と呪いと恐怖と関係から解かれて自由になる。ぼくたちは個体の理性にとってまんざら捨て去り難い、内面的な実在のための美学的武装をとおして視ているそれら、特殊性のなかでの寂しさ、心細さ、心憎さは普遍的な時空間のなかで癒されるだろう。それは虚無と漂白と概念の最も遠い明日のかたちであるという未成立な事実への信頼も素朴な自由である。ただ自立の

不可能な深淵のなかへ堕ちて、所詮自立とはまだ実在しない自由の憧憬にすぎないと感じない者はまだ可能性によって生きているのだ。

願わくは、この雪溶けて流れ去る前に、ぼくたちの精神がこの不思議な自然と美学と災厄の結晶のかたちを、溜息の荒い時空間の心と夢と沈黙のなかにも、どうぞ見付け出せることを。感謝です。可能性の狭き門より来るあなたの汚れた顔はどんな時間の媒体よりも美しいのだから。

一四・二・十九

T. N.



カフェ・バルコニーの家からのお知らせ



1. カフェ・バルコニーの家では、平成 25 年 4 月より、毎月第 1 土曜日 10:30~14:30、家族会を開催しております。
2. カフェバルコニーの家では NPO 法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる平成 26 年度賛助会員を募っています。入会金 2,000 円 年会費 3,000 円（1 口）です。賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待いたします。
3. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる応援団を募集しています。年会費は 1,000 円からです。（郵便振替 郵便振替 00180-2-322417 NPO 法人カフェ・バルコニーの家） 振込用紙は各郵便局にあります。
4. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために、当会の活動に体験参加できます。
5. 当会で 2 年間調理、接客訓練を受けた方は、**国家資格・調理師試験の受験資格**が得られます。（調理実習が免除されます）
6. ボランティアさんを募集しています。
レストラン調理(補助)・和菓子作り・パソコン・経理・音楽・スポーツなど、いろいろな活動のボランティアさんを募集しています。メンバーと一緒に楽しもうという気持ちがあれば、誰でも出来ます。まずは、気軽に体験してみてください。
(問合せは 043-377-3502 簗下、043-441-319 3 石川まで)
7. ご支援ありがとうございました。
中村かな女様（トールペインティング道具一式）



<カフェ・バルコニーの家 通信 第 46 号 03 月号>

- 発行場所 : NPO 法人カフェ・バルコニーの家
千葉県美浜区磯辺 3-5-7
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 簗下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- E-mail : cafe-balcony.mihama@cnc.jp

